

国際交流

中国の歯学教育、研究、診療、
そして友情に出会った8日間

生体構造学講座 機能構造学分野 教授
稲井哲一朗

上海交通大学との交流のため、都築講師学生7名とともに8日間の研修に行つて参りました。中国には人民病院が10あります。我々が見学した歯科は第9人民病院の中にあり、口腔外科が有名です。歯科の守備範囲は広く、顎から上の領域は歯科が扱います。歯学部は5年間で、卒後に国家試験 実技と筆記試験、合

格率約80%を受けますが、ほとんどの学生が口腔外科などの専門科に進み2年間勉強します。定員は約60名で、その内約20名が留学生です。診療は想像以上に近代的で、チェアは個々に仕切られ、5年生は教員の指導の下に患者の治療を行います。この見学で学生は大いに刺激されたようです。また、副院長の張建中教授を中心に完璧なエスコートで、観光懇親会でも存分に楽しませていただきました。帰国時に学生が抱き合つて泣いていたのが印象的で、有意義な交流ができました。最後になりますが、田中理事長、北村学長、関係の皆様へ深く感謝いたします。



講演会后、両国の学生が集まったの記念撮影



豫園を満喫する学生たち

施設改修

本館情報センター、学務課の改修工事が完了

新しくなった情報センターはオープンスペースとなり、学生の学習および学習支援の場として使用できるように一新されました。学務課は学生ホール側が全面ガラス張りとなり、自動ドアも設置され学生が気軽に相談できる場となりました。

また、学務課の改修工事に伴い1階と5階の学生ホールのテーブル等のレイアウトを変更し、自習などに利用しやすくなりました。



フリースペースが設けられた情報センター



学生ホール1F(写真手前)と明るい空間に変身した学務課入口(写真奥)

解剖実習室の改修工事完了

平成22年度私立大学・大学院等教育研究装置施設整備費補助金「実習重視型・多学年型解剖学教育のための解剖実習室視聴覚機材整備事業10ICT04(353万9000円)」およびICT活用推進事業補助金「フィルター付排気装置一体型解剖実習台並びに水平式プッシュプル局所換気装置10教育装置00(1814万8000円)」の内定を受けて行われた解剖実習室の改修工事が、平成23年3月14日、無事に竣工しました。本学の口腔医学教育の特徴の一つに解剖学教育の重点化があり、1年次に見学実習、2年次に正規の解剖実習、また6年次に卒業前頭頸部解剖実習を行っております。この度の改修工事で導入した新しい解剖台には外気導入口と排気の吸気口が設置されており、解剖実習を居住空間と同等の環境で行えるようになりました(実習用ご遺体の上でホルマリン検出濃度が0.1ppm以下)。また、実習室の壁には4台の大画面モニターが敷設され、ライターの学生の間を動きながらハイビジョンカメラ(写真)で撮影し、学生は他の班の解剖とライターの指導をリアルタイムで観察しつつ効率よく学習することができるようになりました。



ハイビジョンカメラからの映像を映し出す大型モニターと新しい解剖実習台